全国へ発信 281

幼保小中一貫教育プロジェクト

体力向上推進部が新設

全国的に子どもの体力の低下が著しく、運動をする子どもとそうでない子どもの二極化が見られます。町小中学生の「全国体力・運動能力、習慣等調査」の体力合計点では、男女とも種目によっては全国平均を下回るものもあります。社会状況や生活環境の変化による外遊びの減少などが考えられるので、以下のように着手します。

本部会テーマ

▽幼保小中で系統的に活動に取り組み、体力向上を図る。
▽自ら運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わえる子どもたちを育成する。

発達段階ごとの取り組み

中学校

【広げよう！　体力向上の枝葉】

■仲間と関わりながら運動を楽しもう　体力向上を図ろう
▶パフォーマンス力向上にチャレンジ
・仲間と関わりながら（高め合い・競い合い・教え合い）継続的な体力向上運動、各種競技の取り組み
▶全国平均を超えろ　ベストスコアチャレンジ
・体力テストのベストスコアを目指す

小学校

【伸ばそう！　体力向上の幹】

■楽しんで多様な動きを習得しよう　体力向上を図ろう
▶町体育部会を中心とした体育授業の変革
・主運動に必要な体力づくりを目指す
例）マット運動　自重を支える動きや柔軟性を高める動きの向上
▶こんな動きにチャレンジ
・タブレット端末などを利用し、「あいち体育のページ」（https://taiiku.aichi-c.ed.jp/）を活用した継続的な体力向上運動
▶休み時間にチャレンジ
・「ロープスロー」、「ターゲットスローゴルフ」、「シャトルランチャレンジ」、「大ジャンプチャレンジ」、「握力チャレンジ」など

幼稚園・保育園

【つくろう！　体力向上の根っこ】

■楽しみながら体幹をつくろう
▶リズム運動、リトミック、遊具遊び、ボールや手具を使った統合遊び
■こんなことが期待できます
・イメージしたことが動きとなる
・けがをしにくくなる
・椅子に姿勢よく座れる（集中力が途切れない）

■**問い合わせ先**　学校教育課学校教育係　☎(48)1111（内1230・1231）

SDGs17の目標
9.産業と技術革新の基盤をつくろう
強靭なインフラの整備、包摂的かつ持続可能な産業化の促進・イノベーションの推進を図る